

受講生募集！

TIG溶接講習科



TIG 溶接は、材料が酸化されにくく、高品質であり、ステンレス鋼やアルミニウム合金の溶接など広範囲な金属の溶接が可能な事が特徴です。
本訓練は、溶接の“基礎理論学習”と“実習”を通じてステンレス鋼溶接技能者基本級 T N - F レベルの技能向上を目指します。
なお、訓練受講のためには、「アーク溶接等の業務に係る特別教育」の修了者である必要があります。

日程	【5日間コース】	第1日	令和5年10月25日(水)	9:00~17:00
		第2日	10月26日(木)	9:00~17:00
		第3日	10月27日(金)	9:00~17:00
		第4日	10月30日(月)	9:00~17:00
		第5日	10月31日(火)	9:00~17:00

会場 一般社団法人 新居浜ものづくり産業振興センター
新居浜市阿島一丁目5番50号

受講料 無料（新居浜市内に本社がある中小企業の従業員の方）
上記の企業以外の方も受講可能です。事務局にご相談ください。

定員 5名

申込方法 添付の「受講申込書」に、必要な事項をご記入の上、協会事務局までお申し込みください。申込受付後、受付完了の連絡を電話などでお知らせいたします。講習前1週間前後に「受講確認連絡票」を送付いたします。

応募締切 令和5年10月6日(金曜日) 必着

主催

愛媛県東予地域における、ものづくり人材育成教育の総合支援機関

一般社団法人 新居浜ものづくり人材育成協会

〒792-0896 新居浜市阿島一丁目5番50号

TEL: 0897-47-5601 FAX: 0897-47-5602

E-Mail: info@niihamagenki.jp URL: <http://niihamagenki.jp>



TIG溶接科 講座内容

訓練の概要			
概要	溶接の基礎理論と実技でT I G溶接の必要な技術・技能を習得する。		
学習目標	溶接技能者 基本級(TN-F)の取得を目指す。		
受講対象者	作業に従事する技能・技術者、またはその候補者		
定員	5名		
訓練のポイント	学科と実技を通じて、基礎から応用までの学習することができる。	講師： 新居浜ものづくり人材育成協会 指導員 加藤 裕雄	
開催日	カリキュラム		備考
10月25日	【学科】		
	1 ステンレス鋼の種類と性質	①ステンレス鋼におけるCr、Niの役割 ②ステンレス鋼の溶接部の耐食性	
	2 ステンレス鋼の溶接	①被覆アーク溶接 ②炭酸ガスアーク溶接 ③ミグ溶接、マグ溶接、 ④T I G溶接 ⑤サブマージアーク溶接 ⑥セルフシールドアーク溶接 ⑦エレクトロガスアーク溶接 ⑧プラズマアーク溶接	
	3 ステンレス鋼の分類	①Cr系、マルテンサイト系ステンレス鋼 フェライト系ステンレス鋼 ②Cr-Ni系、オーステナイト系ステンレス鋼	
	4 ステンレス鋼の溶接部の耐食性	①粒界腐食 ②応力腐食割れ ③隙間腐食 ④異材溶接の腐食	
	5 溶接機とその特性	①電気の知識 ②直流、交流	
	6 溶接機の取り扱い	①溶接機の設置と接続 ②溶接機の保守管理	
	7 ステンレス鋼の溶接機と施工法	①材料選択 ②溶接記号	

開催日	カリキュラム		備考
10月26日	8 裏波溶接と開先の形状	①バックシールド方法の例	
	9 炭素鋼との異種金属溶接	①異材溶接の考え方 ②肉盛り溶接 ③ライニング材の溶接	
	10 溶接部の試験と検査	①破壊試験 ②非破壊試験	
	11 障害とその防止対策	①アーク溶接の障害とその防止対策 ②火災、爆発とその防止対策 ③電撃による障害とその防止対策	
	12 溶接の個別練習	①ストリンガービード置き方 ②ウイピングビードの置き方 ③メルトランビードの置き方	
10月27日	13 溶接実習、基本級の練習	①基本級（T-NF）の溶接実習	
10月30日	14 溶接実習、基本級の練習 （シールドガスを使用）	②母材に開先をとつてルート間隔を取り裏波溶接	
10月31日	15 溶接実習、基本級の練習 （シールドガスを使用）	③練習を繰り返し、電流、速度、溶接棒の送り方を取 得	
		④自由練習	
		学科合計 : 14 Hrs	
		実技合計 : 21 Hrs	
	合計 : 35 Hrs		